

Focal Field 3 近未来モビリティ

新しい輸送システムで人とモノの移動を変革



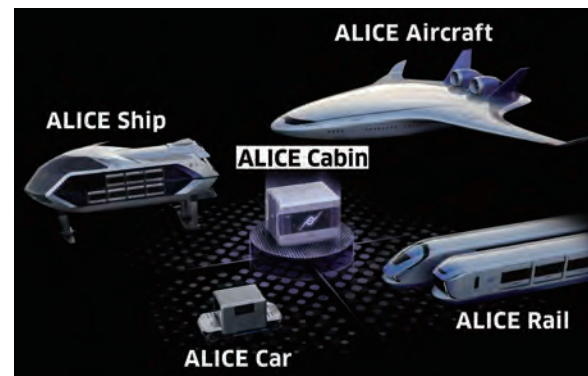
eコマースの進展、シェアリングサービスの普及、ライフサイクルの変化に伴う個人モビリティの需要増加など人とモノの移動の変化に新しいソリューションで応えます。特に、物流量の増加に伴う人手不足、労働環境の悪化、都市部の交通渋滞、自然災害による交通手段の遮断などの社会課題に対し、新しい輸送システムや、輸送機器にロボティクスやリモート技術を組み合わせた新しいシステムを提案しています。

豊かでスマートかつシームレスな移動が可能な社会

関連する事業 ● 航空宇宙システム ● 車両
● エネルギーソリューション&マリン
● パワースポーツ&エンジン

川崎重工グループは、誰もが自由に快適に移動を楽しむことができる2050年のコンセプトモデルとして、未来の公共交通システム「ALICE SYSTEM(アリスシステム)」を2025年日本国際博覧会で展示しました。「グループビジョン2030」を達成した先の未来では、心弾む新たなソリューションの提供にも挑戦し、人とモノの移動を変革していきます。

詳細は➡P.04をご覧ください



未来の公共交通システム「ALICE SYSTEM」の概念図

空の自由な移動を叶えるヘリコプタ手配サービス

関連する事業 ● 航空宇宙システム

Z-Leg™(ゼータ・レグ)の提供

Mobility as a Service (MaaS) が急速に広がりを見せる中、当社はヘリコプタ製造の経験と信頼を生かした新規事業として、ヘリコプタによる空の移動をワンストップで提供するサービス「Z-Leg™」(ゼータ・レグ)を提供しています。

ヘリコプタ、パイロット、ヘリポート、タクシーなども全てオンラインで手配でき、ワンストップで国内を自在に、効率的につなぐ夢の移動が実現。移動時間短縮のほか、日本の地形美をヘリコプタ独自の高度で堪能でき、空の移動の贅沢さも味わえるサービスです。安全性確保のため、2つのエンジンを搭載した双発機のうち、事業用機を活用。信頼性の高い運航会社と連携しています。

国内各地の離着陸場の整備を進め、新たな航路を開拓し、自治体や旅行会社、鉄道会社、百貨店などとのコラボ

レーションも進めています。経済メディアやライフスタイル雑誌、地方紙などによる取材・掲載が相次いでおり、空の移動の新たな選択肢として注目度が高まっています。



「Z-Leg™」空の移動を手配するワンストップサービス

新モビリティの事業化

関連する事業 ● 航空宇宙システム ● パワースポーツ&エンジン

VTOL*無人機「K-RACER」の社会実装に向けた取り組み

VTOL無人機「K-RACER」は物流業界の人手不足を解決するために、ヘリコプタの技術とモーターサイクルで培った小型ハイパワーエンジンを組み合わせて開発しています。滑走路を必要としない垂直離着陸と、ドローンでは実現できない十分な積載重量を特長としています。2024年には目視外飛行の実証試験を実施し、災害時の活用も含めた社会実装に向けて着実に歩みを進めました。

2025年1月に一般社団法人日本UAS産業振興協議会(JUIDA)と連携し、南海トラフ地震の発生を想定した実動訓練「南海レスキュー 2024」(陸上自衛隊中部方面隊主催)に参加しました。本訓練では、K-RACERを用いて孤立した被災地への支援物資輸送を実施し、無人航空機による物資の荷揚げから荷降ろしまでを人の手を介さずに行う「無人物流輸送」に成功しました。こうした取り組みを通じて、災害時における新たな物流インフラの実現に向けた有効性を実証しています。

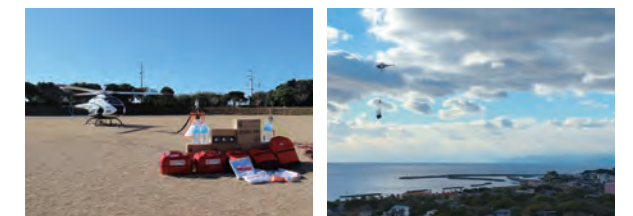
また、長野県伊那市からは「無人VTOL機による物資輸送プラットフォーム構築事業」の委託を受け、パイロット

ト不足や山岳特有の気象状況などの問題を抱える「山荘への物資輸送」の実現に向けて、ステークホルダーとの調整や法令に基づく許認可などの手続きについても取り組んでいきます。

* 垂直離着陸 (Vertical Take-Off and Landing)



VTOL無人機「K-RACER」



「K-RACER」による物資輸送実証の様子

配送業務の自動化

関連する事業 ● 精密機械・ロボット ● パワースポーツ&エンジン

ロボットによるマンション向けポーターサービス

川崎重工は三井不動産レジデンシャル株式会社、三菱地所レジデンス株式会社、大成建設株式会社の3社と、「三田ガーデンヒルズ(分譲マンション)」において、大成建設が提供するロボット統合管制プラットフォーム「RoboHUB(ロボハブ)」の下、当社が開発した屋内配送用サービスロボット「FORRO(フォーロ)」を用いたロボットポーターサービス「FORRO PORTER(フォーロ・ポーター)」を2025年7月より本格稼働しました。マンション向けのロボットポーターサービスとしては国内最大規模*です。

「FORRO PORTER」は、屋内配送用サービスロボット「FORRO」がマンションのエントランスと住戸の間を自動で走行し、居住者の帰宅時や外出時に、荷物を代わりに運ぶポーターサービスで、利用者はスマホアプリから配送依頼可能です。「FORRO」は複雑な空間の中でも、目的地までの最適なルートを自動で走行することができ、

「RoboHUB」を介してエレベーターやオートドアと連動を行うことで、複数のセキュリティエリアを経由してスムーズな移動が可能です。大規模な住空間において、自由にロボットと人が行き交う環境の構築を実現しています。

* 当社調べ。配送のためにロボットが走行するルートの合計距離は約6.6km



三田ガーデンヒルズ内を走行する「FORRO(フォーロ)」